様式１

記 入 例

令和〇〇年度 「大学院生研究助成(A)」成果報告書

氏名		指導教員名	
研究科名	研究科	専攻名	専攻
学籍番号		年次	D・M 年次
研究テーマ名			

１．研究成果を公表した（する予定の）掲載書（学会誌等）の名称

①名城大学〇〇学部研究紀要

②名城大学院〇〇学研究科修士論文

２．研究の実績（箇条書き）

申請書に記載した研究計画について、どこまでの進捗状況かを記入してください。研究期間内に計画をどこまで進めることができたかの視点で記入してください。

① 〇〇〇においては、〇〇〇〇〇の実施により〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の充実を図り、〇〇〇〇〇〇を行った。

② 〇〇〇〇〇〇〇〇について調査を行い、〇〇〇〇における〇〇〇〇を把握し、〇〇〇〇〇〇〇〇に反映させた。

③ 〇〇〇〇の導入により〇〇〇〇の研究を〇〇〇〇のほか、〇〇〇〇と〇〇〇〇にも対象を広げ展開した。

④ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に参加し、〇〇〇によって、〇〇〇〇〇〇の公表を行った。

３．具体的な成果（箇条書き）

研究の成果はどのような方法で公表され、そのことで社会的にどのような影響を与えることができたかの視点で記入してください。

① 〇〇年〇〇月〇〇日の〇〇学会において、口頭発表を行い、名城大学〇〇学部研究紀要に投稿した。

② 〇〇〇の調査により、〇〇〇における〇〇〇を把握し、〇〇〇を行う際の基礎データとして活用し、〇〇における〇〇〇の改善に反映し、〇〇〇が向上した。

③ 〇〇〇を導入することにより、〇〇〇のみならず、他の〇〇にも研究の対象を広げ、〇〇〇〇のより一層の向上が図られ、それにより、の〇〇〇〇の率を〇〇%程度まで上昇させることができた。

④ 〇〇〇〇を行ったことにより、〇〇〇〇に係る〇〇〇について〇〇〇することが可能となったとともに〇〇〇における〇〇〇の充実を図ることができた。

⑤ 〇〇〇〇〇〇〇に参加したことで、本研究を〇〇〇〇に情報発信し、本研究の公表・普及に繋げることができた。

４．本制度についての満足度をお聞かせください。また、その理由をお聞かせください。

１．満足　　２．やや満足　　３．やや不満　　４．不満

【理由】

５．本制度の他に、大学からの大学院生に対する支援制度として、このような制度があれば良いという制度がありましたら、記載ください